



一般社団法人 岡山県臨床検査技師会

# 会報

Okayama association of  
Medical Technologists

2018. 3月号  
Vol.531

発行責任者

ホームページ: <http://www.okaringi.or.jp>  
一般社団法人 岡山県臨床検査技師会

編集責任者

中川裕美  
倉敷リバーサイド病院 臨床検査室  
TEL: 086-448-1111 (内線 201)  
E-mail: hn8226@kchnet.or.jp

## ◆これからの岡山県臨床検査技師会の予定

月	日(曜)	講演会・行事など
3月	11日(日)	平成29年度岡山県合同輸血療法委員会講演会 会場: オルガビル・オルガホール
4月	20日(金)	津山地区講演会 「法改正 ～私達がすべきことは?～」 会場: 津山中央病院 研修センター 2階 研修室 ※ 詳細事項は決まり次第会報・HPIに掲載予定
6月	17日(日)	平成30年度 一般社団法人 岡山県臨床検査技師会 定期総会・教育講演 会場: 川崎医療短期大学
	22日(金)	真庭地区講演会 「膠原病, 自己免疫疾患の検査」 会場: 金田病院 研修ホール

※関連学会, 団体行事, 後援行事につきましては, 本会報の別ページおよび技師会HPIにも掲載しています。

※ <http://www.okaringi.or.jp/>

## 平成30年度定期総会 & 特別講演 **NEW!!**

<b>日 時</b>	平成30年6月17日(日) 10:00~12:00
<b>場 所</b>	川崎医療短期大学 体育館
<b>内 容</b>	教育講演「見えないから見えたもの(仮)」 竹内 昌彦 先生
<b>生涯教育点数</b>	基礎-30点
<b>参加費</b>	無料
<b>問合せ先</b>	旭東病院 臨床検査部 藤岡 克徳 E-mail: fuji-ok@kyokuto.or.jp

### 学術部からの お知らせ

#### 津山地区講演会 **NEW!!**

<b>日 時</b>	平成30年4月20日(金) 19:00~20:30
<b>場 所</b>	津山中央病院 研修センター 2階 研修室
<b>テ ー マ</b>	「法改正 ～私達がすべきことは?～」
<b>生涯教育点数</b>	専門-20点
<b>参加費</b>	500円

※ 詳細事項は決まり次第会報・HPIに掲載予定

#### 真庭地区講演会 **NEW!!**

<b>日 時</b>	平成30年6月22日(金) 19:00~20:30
<b>場 所</b>	金田病院 研修ホール
<b>テ ー マ</b>	「膠原病, 自己免疫疾患の検査」 岡山医学検査センター (講師未定)
<b>生涯教育点数</b>	専門-20点
<b>参加費</b>	500円
<b>問合せ先</b>	勝山病院 久保田 哲司 E-mail: numoto@katsuyama-hp.or.jp

☆講演会のポイント: 膠原病は全身性エリテマトーデス, 関節リウマチ, シェーグレン症候群, 強皮症, 多発性筋炎などの全身性自己免疫疾患の分類名称です。特定疾患(難病)ですが適切な治療を受けることで, 寛解することも多くなりました。重症化や後遺症を防ぐためにも, 早期発見, 早期治療が重要になります。今回は診断, 経過観察に必要な検査法を中心にお話させていただきます。

## 会員情報変更（異動）・退会等の申請方法について

1. 日本臨床衛生検査技師会ホームページの会員専用ページから手続きを行ってください。  
<http://jamtjamtis.jamt.or.jp/Jamtis/Account/Login.aspx>
2. 会員専用ページから手続きが出来ない方は、「会員情報変更」、「退会届」用紙をダウンロードして日臨技事務局に郵送で提出してください。

## 生涯教育点数申請（自己申告）方法について

後援事業（講演会など）へ参加した際の生涯教育点数申請（自己申告）につきましては、以下の手順にて手続きをお願いします。

1. 日臨技ホームページより、申請用紙をダウンロードします。  
（トップページ右端のタブ「入会・退会・会員情報の変更」から最下段「他学会・他団体用（様式1-2）」）
2. 必要事項を記入します。
3. 出席を証明するもの（コピー可）とともに、岡臨技事務所へ送付してください。  
※関連団体後援事業に対する点数の付記は10点です。自己申告申請は、所属技師会にて登録します。

## 平成29年度「日臨技生涯教育研修制度」登録処理について

平成29年度の生涯教育行事参加登録につきましては、3月中旬までが申請の締め切りとなっています。各自の登録状況の確認と申請をお願いします。

### （確認・申請方法）

1. 日臨技ホームページから「会員専用ページ」にログインし、登録されている内容を確認します。
2. 未申請の講習会などについて申請をされる場合には、日臨技ホームページから自己申告書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ証明となるもの（コピー可）と共に、岡臨技事務所まで送付してください。
3. 登録漏れがありましたら、岡臨技事務所 TEL：086-243-2239 または情報組織部 中川（倉敷リバーサイド病院 hn8226@kchnet.or.jp）までご連絡ください。

※その他、ご不明な点につきましては上記宛までお問い合わせください。なお、平成28年度分（昨年度分）は申請できません。また、平成29年度分につきましても、新年度（4月）以降になりますと申請ができなくなりますのでご注意ください。

## 平成30年度 日本臨床衛生検査技師会・ 岡山県臨床検査技師会年会費の引き落としについて

日本臨床衛生検査技師会および岡山県臨床検査技師会の年会費（日臨技10,000円 + 岡臨技 5,000円）は、前納制となっております。

口座振替日は平成30年2月27日（火）に引き落としの予定です。残高などにご注意ください。

何らかの理由で同日に振替が出来なかった方は、3月27日（火）に再振替を行います。



☆ 講習会に行ってきました～ ☆



### 平成30年1月27日 生物化学分析部門講演会

1 番目の講演は、「身近な異常値（気づいてますか）？」というテーマで、多くの異常値が出現した事例を示していただき大変勉強になりました。初級編事例は、ルーチンでも経験する可能性があり、生化学用採血管にEDTAや輸液が混入した場合の生化学検査値への影響および確認方法、その後の診療側への対応法を学ぶことができました。2 番目は、「異常反応の検出と対策」というテーマで、分析装置に由来する異常値の出現原因には、プローブ洗浄不良によるコンタミネーションや光源ランプの劣化が関係しており、日頃からのメンテナンスの大切さを改めて認識しました。3 番目は、「RCPCにおけるデータ判読手順」というテーマで、データ判読する手順、ポイントを教えていただき、さらに、グループに分かれて事例データを判読しました。普段このようなことをする機会はないので今回このような体験ができ充実した時間を過ごすことができました。

岡山市立市民病院 臨床検査技術科 中村 圭希

### 平成30年2月4日 生物化学分析部門実技研修会

平成30年2月4日（日）に岡山県臨床検査技師会 生物化学分析部門主催の酵素活性測定的基础と実習（Km値とレート法を知る）に参加しました。県外からも多くの参加者がおられ、他施設の方と3人1グループで試薬調製から活性値算出までを行いました。試薬秤量をグループごとに計算し、ASTの活性値を求めるために

NADHのεやS-Vカーブやラインウィーバー・パークのグラフよりKm値を算出するなど、日常業務で試薬キット、自動分析装置を用いて検査を行っている現代の検査から、全て自分の目で確認し、計算する用手法を学生時代ぶりに行うことで酵素活性の理解度を深めることができました。特にKm値算出において、グラフの線の引き方次第で微妙にKm値が異なるために皆でディスカッションをして決めたこと、ストップウォッチ片手にASTの活性値を求めたことで達成感を味わう1日となりました。普段、試薬調製をしたり、Km値を求めたりすることはないので、このような貴重な実習を行うことができ、大変勉強になりました。

倉敷成人病センター 藤井 絵梨

研修会は午前：酵素の基礎（酵素のEC分類、補酵素、Km値等）と実習手順説明、午後：12班に分かれてAST活性測定（試薬調製、NADHのε算出、Km値算出、AST活性測定）の2部構成でした。参加を申し込んだものの、実習についていけないかもしれないという恐怖心から事前配布資料と教科書を熟読して研修に臨みましたが、心配しなくても藤本先生をはじめ実務委員の方が何でも質問を受けてくださり、酵素活性測定に興味を持って学ぶことができました。ルーチン業務では機会がないと思われる試薬調製を行い、四苦八苦したことが印象に残りました。また、岡山県外の参加も多く、他施設の方との交流も良い機会となりました。

研修終了後、開放感と、使いすぎた頭の心地よい疲労感を感じながら日々のルーチン業務に生かそうと思えた研修でした。

倉敷成人病センター 石川 綾子

### 平成30年2月11日 一般検査部門講演会

山口県から参加しました。今回はまず演題名をみて、「面白そう！」と思い岡山への遠征を決めました。特に寄生虫、標準作業書、臨床医からみた検査の重要性のテーマでは、初めて知る内容が多く、また別の機会に続編を聞いてみたいと思いました。さらに「細胞をいっしょに見てみましょう」では、豊富な尿沈渣スライドを準備してくださり、精度管理として目合わせが出来ました。講師の先生方、ありがとうございました。

JA山口厚生連周東総合病院 蓑田 誠治

認定一般検査技師更新指定研修会ということもあり、体腔液・尿はもちろん、沢山の美しいスライド、愛を感じる寄生虫のお話など一般検査の思わぬ関係を学ぶことができました。また、講師の先生方の幅広い知識に触れ、私自身さらなる努力をせねば!!と実感した一日でした。実行委員の皆様このような充実した研修会を有難うございました。

川崎医科大学総合医療センター 前川 圭子

## ● 重要なお知らせ ●

川崎医療短期大学の駐車場が工事（準備工事）のため、下記の期間は使用できません。

講演会等で利用される方は、川崎医大北側のヘリポート横の駐車場をご利用いただくか、公共交通機関でお越しください。

**工事期間(予定) 平成29年12月22日(金)～平成30年3月31日(土)**



## 会長からのお知らせコーナー



先日「日臨技会長宮島喜文」政経報告会・平成30年度日臨技事業計画説明会・賀詞交換会・全国幹事会（全国会長会議）が行われました。政治と絡んだ話はなかなか受け入れてもらえないようですが、宮島会長が参議院議員になり、参議院厚生労働委員会のメンバーになったことで、臨床検査技師はかつてないほど注目されている事は紛れもない事実です。以前は、日本臨床衛生検査技師会から厚労省への要望書が「そこに置いて」で済まされていた待遇から、近年では「何かありませんか？」と伺ってもらえるほどになったそうです。汚い世界と思われませんか？肅々と行ってきた実績を世間知ってもらおう事、評価してもらおう事、診療報酬に反映され病院での存在価値を上げる事は大変重要なことです。そして、そのために政治は必要であり、自分たちが自ら動かなければならない事をこの度実感しました。今、宮島会長が先頭に立って全国の臨床検査技師を引っ張ってくださっています。この期を逃すと次はいつになるかわかりません。動き出したこの期に私達も後方側方支援をしながら足下を固め、組織が丸となって進んでいかないといけません。

次年度中に精度管理が明確になり、さらに職能業務拡大事業が具体化していくことでしょう。平成30年度の事業計画に注目し、臨床検査技師の存在は世間から見たらどうなのか？将来自分がどのようになりたいのか？自分に何ができるのか？を考えてみませんか。

一般社団法人 岡山県臨床検査技師会 会長 岡本 由美



※ パスワードは会員以外には公開しないよう徹底をお願い致します。

◇岡山県の会員動向◇

会員数：1,381 (11月 1,378)  
平成30年1月末現在

「会員だより」「お知らせ」などの問合せ先

倉敷リバーサイド病院 臨床検査室：中川 裕美まで  
TEL：086-448-1111(内線201) E-mail：hn8226@kchnet.or.jp